



昼食時ににぎわう道の駅

第3回定例町議会が9月6日から21日まで開会され、一般会計および特別会計決算の認定等が可決されました。決算の概要は、次のとおりです。

平成17年度 一般会計決算の 概要

歳入決算額 38億3,945万円

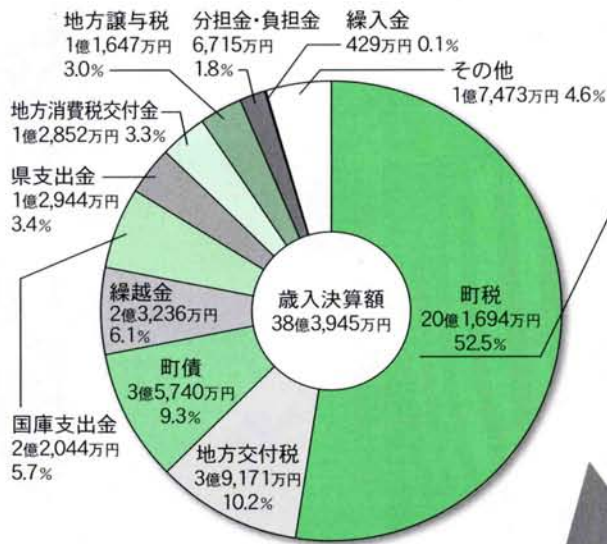
歳入

歳入決算額は、繰越事業費を含めて38億3,945万円。前年度決算額50億5,790万円に比べ24.0%（12億1,110万円）の減額となりました。

歳入の主な特徴点として、町税は固定資産税が減少したものの、個人所得割が配偶者特別控除の上乗せ分の廃止や公共事業の用地売却等で増加、法人税割が主に製造部門の業績が好調なことから増加しました。

また、国の三位一体改革で地方財政計画の規模が抑制されたことや町税の増加により、地方交付税および臨時財政対策債が大幅に減少しました。

さらに、町道9号線の緊急地方道路整備事業の国庫支出金および町債は増加したものの、中学校校舎の耐震改築事業および道の駅整備事業の完了により、全体としては国・県支出金および町債がともに大幅な減少となりました。



項目	金額 (円)
個人町民税	3,449,700,000
法人町民税	2,448,000,000
固定資産税	12,614,200,000
軽自動車税	1,742,000,000
町たばこ税	6,865,000,000

町税の推移

歳入の半分を占める町税は、わずかながら上昇し、8年ぶりに20億円を超えました。また、平成16年度の徴収率は、県内44市町村中第2位で、全国平均92.1%よりも高いポイントになっています。

町では、今後も徴収率UPを目指し、自主財源の確保に努めます。



決算額を人口で割り、1人当りを家計に例えたものです。(単位:円)

支出		収入	
食費 (人件費)	89,098	給料 (町税)	201,312
医療費 (扶助費)	27,592	パート収入 (使用料、分担金等)	14,045
ローン返済 (公債費)	41,398	定期預金の解約 (繰入金)	428
住宅増築工事 (普通建設事業費)	29,383	前月からの繰越 (繰越金)	23,192
生活費 (光熱水費、物品購入費など) (物件費、補助費等)	109,655	小計	238,977
車検、家の修繕費 (維持補修費)	1,681	親からの仕送り (地方交付税、国庫支出金等)	108,568
子供への仕送り (繰入金)	54,877	ローン借入 (町債)	35,672
貯金 (積立金、投資及び出資金、貸付金)	3,652	小計	144,240
合計	357,336	合計	383,217

(住民基本台帳人口10,019人 平成18年3月31日現在)

※国民健康保険税を除く。



五霞ふれあい祭り（平成17年10月）

主な普通建設事業費

土木費	(単位：千円)
道の駅ごか車止め・広告塔看板設置	4,771
道路整備・維持補修工事	246,546
消防費	
消防ポンプ自動車更新（第1分団）	14,228
教育費	
中央公民館空調設備工事	1,533

歳出決算額 35億8,015万円

歳出

歳出決算額は、35億8千15万円で前年度決算額48億1千8百43万円に比べ25・7%（12億3千8百28万円）の減額となりました。

目的別歳出の主な特徴点として、総務費や衛生費、消防費、公債費（借換えを除く）が増加したものの、農林水産業費や教育費、土木費等のほとんどの科目が減少したことから、全体として減となっています。

対前年度との比較では、民生費で介護保険事業特別会計繰出金、医療福祉制度の拡充により扶助費は伸びている一方で、介護予防事業や保育所に入所する乳児等の減少により保育所に係る事業費が減少しています。

衛生費は、水道事業の給水収益の減収により水道会計補助金が増のほか、さしま環境管理事務組合で新たなごみ処理施設建設に伴う基金を積み立てていましたが、平成16年度にそれら積立金を取崩し、負担金に充当し、平成17年度は通常の負担金に戻ったため増となりました。

土木費は、町道9号線（都市計画道路小手指・小福田線）の緊急地方法道整備事業および地籍調査事業が増となったものの、道の駅整備事業の完了や町単独道路整備事業、公共下水道事業

特別会計繰出金が減となっています。

消防費は、消防ポンプ自動車1台の更新により増となっています。

教育費は、小学校の指導書改定による教材用具整備事業や障害児生活補助員の設置などが増となったものの、中学校校舎の耐震改築事業の完了やスクールバス運行事業が減となったことから大幅に減少しました。

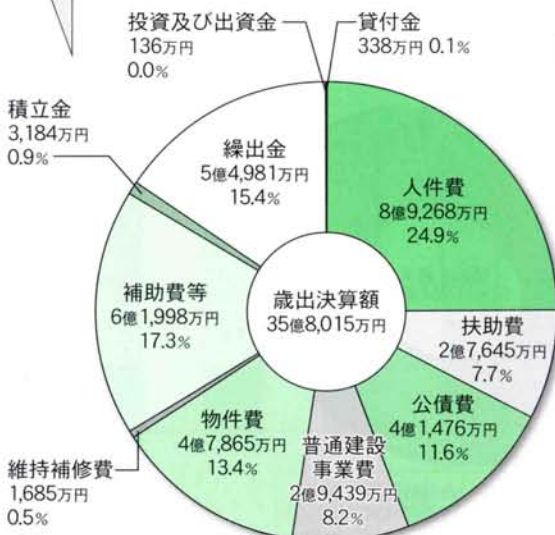
公債費は、平成16年度に減税補てん債を借換えたため、大幅な減少となっていますが、借換え分を除くと西小学校大規模改造事業等の元金償還開始により増となっています。

性質別歳出とは…

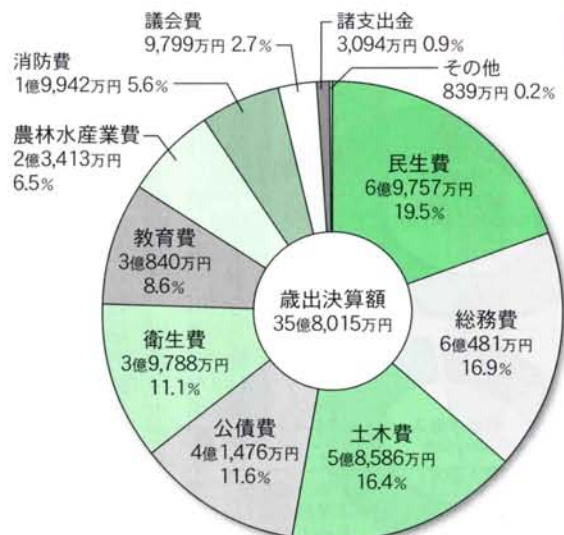
どのような性質の経費がどのくらい使われたのかを示しています。

- ・人件費…町長、職員の給与や議員報酬などです。
- ・扶助費…児童、高齢者や障害者に対するものです。
- ・公債費…町が借入れた地方債の返済（元利償還金）です。
- ・普通建設事業費…道路や施設の整備にかかるものです。
- ・物件費…消耗品費や委託料などです。
- ・維持補修費…公共施設の修繕費です。
- ・補助費等…ごみ処理や消防などの負担金です。
- ・積立金…特定の目的のために積み立てるものです。
- ・繰出金…特別会計に支出される経費です。
- ・投資及び出資金…県信用保証協会等への出資金です。
- ・貸付金…高額療養費等への貸付金です。

性質別



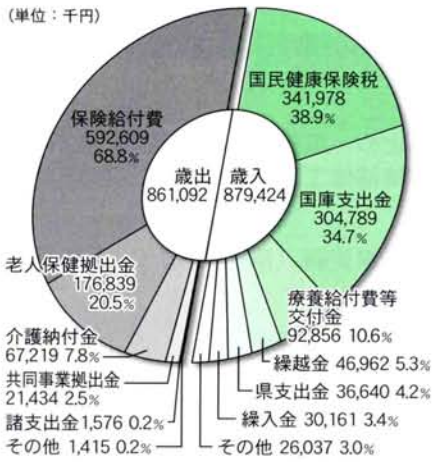
目的別



平成17年度 特別会計決算の 概要

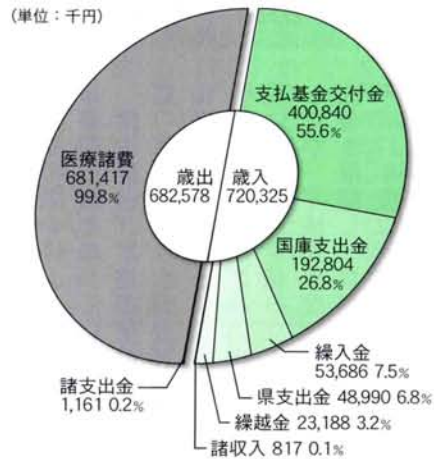
国民健康保険特別会計

高齢化や社会保険から国民健康保険への保険加入者の増加、医療費の件数、一人当たり費用額など全体に増となりました。



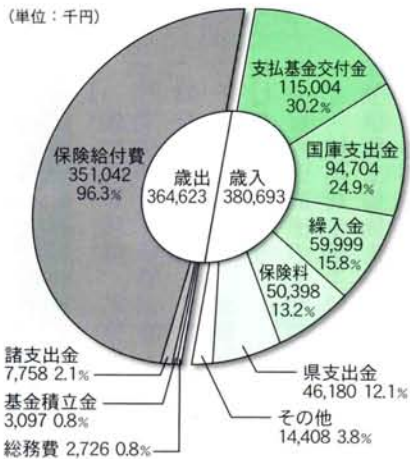
老人保健特別会計

受給者数は減少していますが、高齢化等により一人当たりの医療費はほぼ横ばいとなりました。



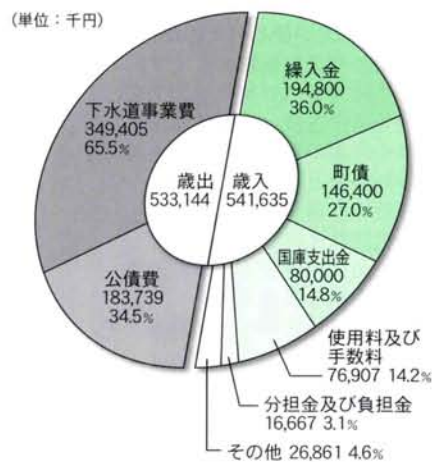
介護保険特別会計

介護認定者が年々増加し、居宅サービス利用者の増加により、決算額全体では増となりました。



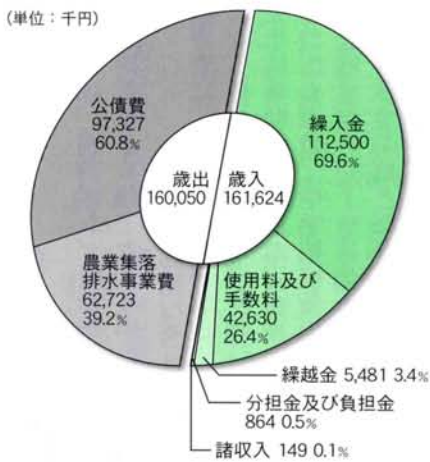
公共下水道事業特別会計

主に小福田地区の管渠整備、環境浄化センター中央監視制御盤更新工事と環境浄化センターの維持修繕等を実施しました。



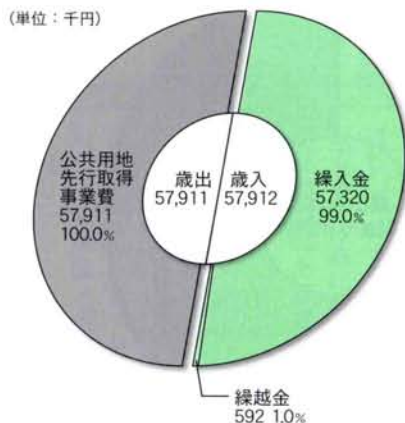
農業集落排水事業特別会計

農業集落排水区域の管渠整備は、完了していますので、主に各水処理センターの維持修繕などを実施しました。



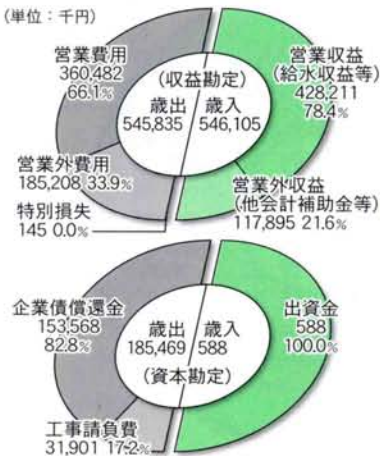
公共用地先行取得事業特別会計

(仮称)五霞町総合運動公園の用地取得費の借入償還などとなっています。

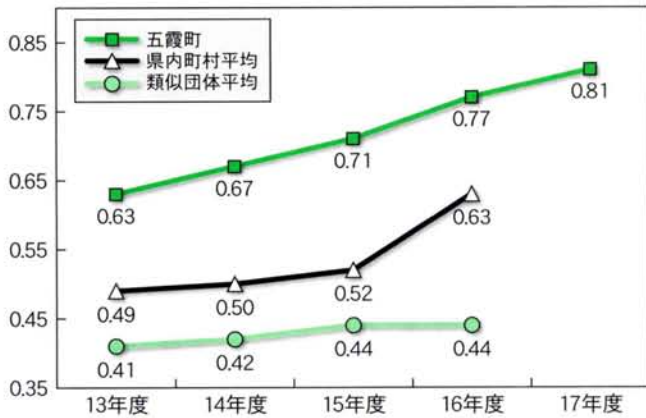


水道事業会計

収益勘定では、水道の新規加入者の伸び悩みにより収益が減少しました。資本勘定では、川妻浄水場ろ過池ろ過砂交換工事、川妻浄水場配水ポンプ電動機交換工事を実施しました。



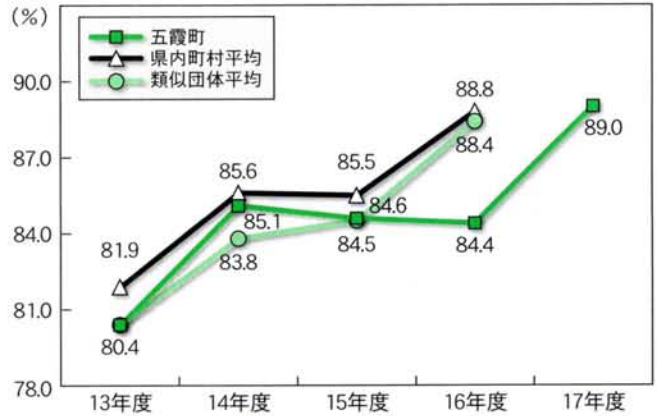
財政力指数 (3か年平均) 0.81



財政力を示す指標で、標準的な行政サービスを提供するのに必要な費用に対して、町税収入などがどれくらいの割合を占めているかを表したものです。

この値が高いほど地方交付税の依存度が低いといえ、また、1に近いか1を超えるほど財源に余裕があります。

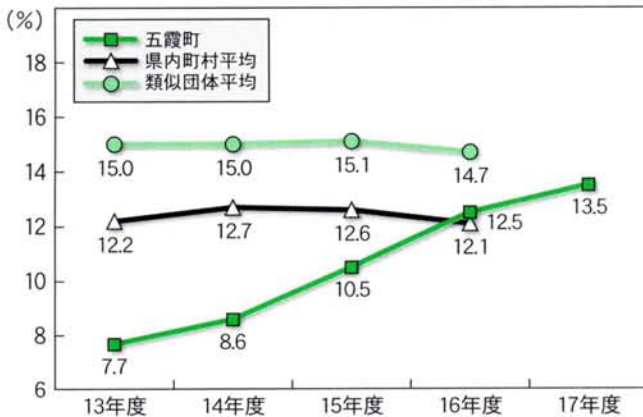
経常収支比率 89.0%



財政構造の弾力性を示す指標で、家庭でいうと、食費や電気・ガス・水道代、ローン返済など、きまって支出する生活費を毎月の給料で割ったものです。

この比率が低いほど一般財源に余裕があり、新しい行政需要にも対応できることとなります。

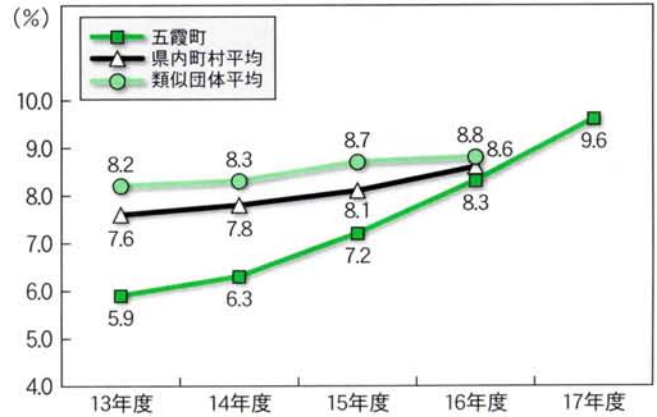
公債費負担比率 13.5%



公債費による財政負担の度合いを示す指標で、平たく言うと、借金 の程度を示すものです。

15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされています。

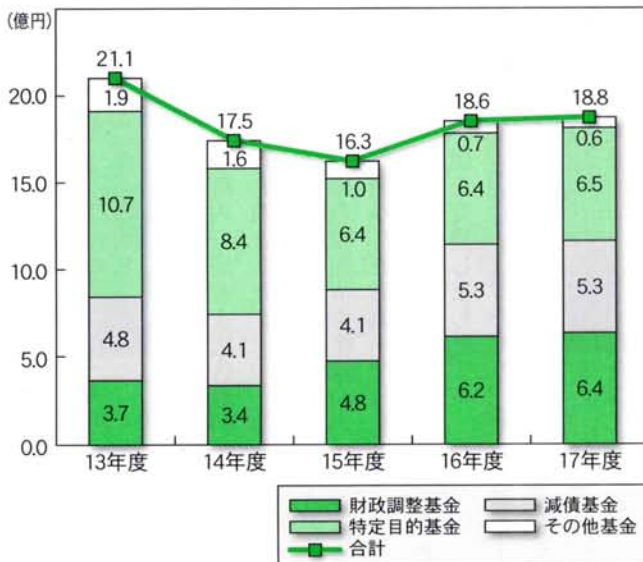
起債制限比率 9.6%



公債費負担の状況を把握する指標で、3年間の平均により算出します。

この比率が20%以上の場合は、地方債の許可が制限されます。

基金残高 18.8億円



町債残高 145.2億円

